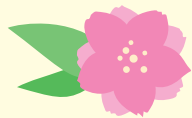
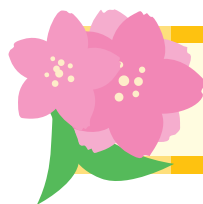


な す は あ っ た 会 よ

あったかいシンポジウム
～向こう3軒両隣の支え合い～ 開催報告

令和5年12月2日(土)、シンポジウムをゆめプラザ・那須で開催し、多くの方々にご参加いただきました。国際医療福祉大学医療福祉・マネジメント学科副学科長林和美氏に「地域での助け合い」についてご講演いただいた後、実際に町内で助け合い活動を行っている蓮実加代子氏と立川巖氏、G・小さな支え合い代表の杉本賢蔵氏からの活動報告とパネルディスカッションを実施しました。

平山幸宏町長にもご挨拶頂き、
本シンポジウムの
期待の高さが伺えます！



あったかい座談会 開催報告



先のシンポジウムに参加された方の中で、地域づくりに興味を持った方を中心に、2月1日(木)、座談会を開催しました。引き続き、林先生に「自分たちにできることってなんだろう？」についてご講演いただき、その後グループワークを実施し、「10年後、私たちの町がどのようになってほしいか」や「地域にどんな活動があるか」、「地域にこんな活動があったらいいな」について話し合いました。今後も話し合いを継続していきますので、ご興味のある方は、なすあった会事務局までご連絡ください。



助け合い・支え合い活動インタビュー



なすあった会では、実際に助け合い・支え合い活動が行われている
2名の町民の方にインタビューをさせていただきましたのでご紹介します！



①氏名(年齢) ②活動内容 ③いつ頃から ④きっかけ ⑤感想や今後について

① 立川 巖 氏(70歳代) 田代地区

② ご近所の方のちょっとした困りごとへの対応
通院介助、サロンへの送迎
G・小さな支え合いに加入し、団体での活動

③ 4年前から

④ 地域のサロンに誘われて行くようになり、
「自分も参加するので、一緒に行きましょう」と
近所の方をサロンへ送迎するようになった。

⑤ 自分に相談がくることって、ちょっとしたお手伝いが必要なことなんですよ。例えば、テレビが壊れてしまったと相談があり行ってみると、地デジボタンが押されてなく、アナログに切り替わってしまっていたりして。1人暮らしだと一緒に確認してくれる人もいないですから。家族がいても別居してて、そんなことで電話すると怒られてしまうって遠慮したりします。自分が先輩方と同じ年になった時に、こんなことに困ってしまうかもしれないな…こんな風になりたいとか色々なことを考える機会にもなっています。これからも私の出来る範囲でお手伝いしていきたいです。

日常生活の
ちょっとした事を
頼れる存在に



① 丸田 節子 氏(70歳代) 伊王野地区

② 毎週水曜日に近所の友人たちの買い物や通院等の送迎

③ 4年前頃から

④ 近所の友人AさんとBさんは仲が良かったのですが、Aさんが亡くなってしまって、Bさんが落ち込んでいる様子だったので、私に何かできることがあればとBさんに話したことがきっかけです。今では、お茶飲みをする関係にもなりました。

⑤ 私も後期高齢者になってしまいましたが、自分に頼まれることがあれば、できるかぎりお手伝いしたいです。近所の友人たちには何かあったら、連絡してねと伝えています。友人と関わり、外に出ていくことで、認知症予防にもなるのかなって思いながら、過ごしています。

友人との
関わりや
外に出る機会に
なっています



おふたりの活動について知ってもらうことで、ちょっとしたお手伝いの輪が広がることを願っております！

お問合せ

なすあった会 事務局

社会福祉法人 那須町社会福祉協議会 地域福祉係 電話：0287-72-5133